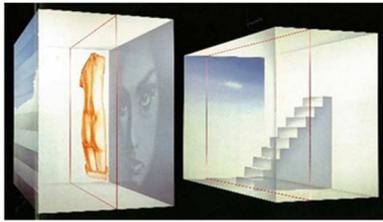
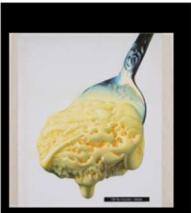


あいちトリエンナーレ 2019 にむけて

愛と知のちからパート XIII 「三尾公三・上田薫展—時代を超えるリアルと幻想—」



三尾公三



上田薫

4. 17(水) ▶ 4. 25(木)

10:00~19:00 ※休館日 4/22(月)
長久手市文化の家展示室 **入場無料**

毎年恒例の、愛知にゆかりのある近現代の洋画家の作品を集めた美術展。あいちトリエンナーレ開催年にちなんで現代美術の分野で著名な三尾公三氏及び上田薫氏の作品を展示します。**三尾公三氏**は、不思議な遠近感をはらんだクールで幻想的な非日常空間を描き、人と人、人と自然、人と絵画など、さまざまな絆を表現しています。そのファンタジックな表現は、時代の閉塞感をうちやぶり、未来への夢や希望を抱かせてくれるものと、内外で高く評価されることとなりました。

上田薫氏は、卵やジャム、スプーンといった「モノ」を、独自の優れたリアリズム表現で絵画化しています。多くの作品は、光できらきらと輝いているように見え、本物と見間違えるほどです。ファンタジックアートの巨匠・三尾公三、スーパーリアリズムの巨匠・上田薫の作品を間近で見ることができる贅沢な企画です。ぜひ、ご自身の目でお楽しみください！
文:中山真一(名古屋画廊 代表取締役)

【平日マチネコンサート】

午後の^{たやす}佇み

「心に響く春の歌声」



5. 16(木)

13:30 開場 14:00 開演
森のホール

出演: 吉田珠代(ソプラノ)
青木ゆり(ピアノ)

料金:【前売・当日】500円

平日の昼間に、ふらっと気軽に立ち寄れるコンサート「午後の佇み」シリーズ。ワンコインで、豊かな午後のひとときを楽しめます。ランチやティータイムと併せて、ご夫婦やお友達と楽しんでみてはいかがでしょう？

今回の出演者は、世界的な音楽家と数多く共演し、高い評価を得たソプラノ歌手吉田珠代による珠玉の名曲集。響きゆたかな森のホールで、豊穡な声の魅力をお楽しみください。

ひとりごと

この春号は「平成」最後の機関紙。
次の夏号が「新しい元号」の最初の機関紙。
特に紙面が変わるわけではないけれど
気持ちだけはリフレッシュして
楽しい紙面を作っていきたい。(み)



大好きな木

ほっと
すぱーす

尾張旭市在住 Y

時々、近隣の公園で開催される自然観察会に参加しています。
これが、とても楽しいんです。いつも見かける足元の雑草や、見慣れた木にも名前があることに改めて驚きます。いくつになっても知らないことがわかったと、嬉しくなります。何気ない散歩は、ささやかな発見に満ちています。
そんな初夏のある日、見つけた一本の大きな木。長久手市役所から早稲田を過ぎた先にある安昌寺境内に、銀色に輝いて立っていました！
堂々とした美しい樹形の木は、菩提樹でした。中国原産の落葉高木。

お釈迦さまが悟りを開いたと言われているインド菩提樹とは別の種類です。さわさわと光っているようにみえたのは揺れる葉っぱの裏が灰白色だから。葉の付け根から出た柄の先に小さな香りのよい花を付けます。枯れ葉となり果実をつけたまま風に舞う姿は、小さなヘリコプターのようです。
檀家でもないのに思い立ってはい、一年を通じて四季折々の姿を楽しんでいます。最近ファンを増やそうと、菩提樹の魅力が普及活動中です。
新緑の季節、ぜひ一度足を運んでみてください。